

# 令和3年度 第1回大野市国民健康保険運営協議会 会議録概要

と き：令和3年6月29日（火）午後7時00分～8時00分

と ころ：結とびあ 302号室

## 1. 開会

## 2. 会長あいさつ

## 3. 会議録署名委員の選任

## 4. 議題

(1) 議題の2「令和2年度大野市国民健康保険事業特別会計決算及び令和3年度予算について」について（P5～P6）

【事務局説明後、質疑応答】

**委員** この令和2年度の決算の、5,585万3千円というのは歳入から歳出を引いたものの残りは実質収支ではなく形式収支か。

**事務局** 形式収支である。

**委員** ここから何を引くと実質収支になるのか。

**事務局** 翌年度に国庫補助金等返還するものを差し引きし、前年度からの繰越額等を引いたものが実質収支となる。

(2) 議題の4「保健事業について」（P8～P11）

【事務局説明後、質疑応答】

**委員** 全部74歳で切っているのは、75歳から後期高齢者医療制度に入るからだと思うが、75歳からは対象にならないということか。入浴サービス事業は年齢でくくっていないが何故74歳で切るのか。

**事務局** 75歳からは後期高齢者医療制度になるので、今回のこの会議では、国民健康保険だけの報告になるため、74歳までである。

**委員** 糖尿病性腎症重症化予防というのは早期糖尿病腎症を見極めなければいけない。ある程度進んでいたら、これはもう予防というよりは糖尿病の治療をしっかりとるしかない。糖尿病腎症で通院する患者のうち重症化するリスクに対してというのは、完全に糖尿病腎症になっているため、その一歩手前で予防するように考えたほうがいいのか。

**事務局** ご意見いただいたので、参考にさせていただきます。

(3) 議題の5「和泉診療所の状況について」(P12)

【事務局説明後、質疑応答】

- 委員** 和泉診療所の、医師の給与は予算決算の中に挙がってる分ということでよいか。
- 事務局** 和泉診療所の医師の給料は国民健康保険の特別会計からは出ていない。別に和泉診療所特別会計で計上している。
- 委員** 令和2年度、3年度の予算のところ諸支出金の中に、その負担分が上がっているということか。
- 事務局** 和泉診療所への特別会計の繰出金というものがあり、和泉診療所は国保直営診療所の繰出しをしている。
- 委員** 診療所は市立か、国保か、国保立か。
- 事務局** 大野市和泉診療所という名前だが、国保直営診療所という国保の診療所であり、大野市が保険者になっている。
- 委員** 和泉診療所の受診者数が増えているというが、実際はそう増えていないように思う。平成27年から28年は確かに増えたが、この28年度以降減っているように見える。
- 事務局** 和泉の人口が減っている中で、診療人数が減っていないっていうことで、増えているという表現をしている。
- 委員** トンネル工事関係者も診療所に行っているのか。
- 事務局** 検診等も診療所で受けている。

(4) 議題の6「大野市国民健康保険税率の改正について」(P13)

【事務局説明後、質疑応答】

- 委員** 2年後に審議会が県一本になるっていうのは、間違いないか。保険の制度が、自治体ごとじゃなく福井県中で一本になるのは。
- 事務局** 平成30年度からは県が財政運営の主体になっており、もう県単位化は始まっている。県が財政運営の主体となり、各市町で各々国民健康保険の事業運営していくことになっている。
- 委員** 保険税が福井県中みんな基本額が同じになるのは。
- 事務局** 将来的に保険税率の統一を図る方向ではあるが、保険料水準等ほどの市町も一緒ではないため、統一するまでには時間がかかる。2年後ではなくて、もっと何年もかけて、県内市町の保険税率が統一されていくことになると思う。

5 その他について

【質疑応答】

- 委員** 国保新聞の中に、国保の用語解説というのがあり、国保の難しい言葉をわかりやすく書いた冊子が出てるらしい。一人ひとりとは言わないが、見てみたい。
- 事務局** 冊子はあるが、かなり分厚い冊子になる。それを委員の方々全員に配るとするのは難しい。国保の手引を作成し、保険証の一斉更新で7月中に被保険者の方に新しい保険証を送る際に

同封する予定である。この国保の手引きを今回配らせていただいております、国保のことについて書いてあるので参考にして欲しい。

―副会長 閉会のあいさつ―